

図書名：「下剋上受験」 著者：桜井 信一

出版社：産経新聞出版

住所：広島県三次市君田町東入君 10361 番地

TEL (0824) 53 - 2008

三次市立君田中学校 第3学年 氏名 盛原 江美里

この本は、中卒の父と偏差値41の娘が、進学塾にも行かずに親娘で最難関中学を目指すというストーリーで、テレビドラマ化され、有名になりました。

私は、今、高校入学を目指す受験生です。受験生として頑張る気持ちはあるのですが、まだやる気が出なかったとき、友達からこの本を勧められました。

親のような中卒で終わって欲しくないと思う父：信一は、娘：佳織を中学校受験させることにした。ただの中学受験ではなく、女子中学校で最も難関の中学校を受験させることにした。

私は、この本が、実話だと知りとても驚いた。進学塾にも行かず、父と娘2人で、同じ問題を解き、同じ勉強をやっていたことも驚いた。娘に、受験前最後の声をかける父の言葉がとても印象に残っている。「諦める気持ちを捨てる覚悟ができたら・・・さあ行きなさい。」これまで二人でやってきたことを信じて、今度は自分の力で最後まで問題と格闘しなさいという父の強い願いが伝わってきた。

私は、この本を読んで、自分の学習方法を見直すきっかけとなりました。私が改善したことは、わからないところができた時は参考書などを使って基礎からやり直すことや公式を暗記するというよりも、図や表を使って考える方法です。

私には、絶対入りたい高校があります。しかし、その高校に合格できるだけの自信はまだありません。でも、どうしても入りたい。父の言葉を私も信じて、志望校を目指して頑張りたいです。